

久美子のオマンコは興奮で既にヌルヌル状態のようで、太ももを透明な汁がつたっている。

「グチュ♡」

いやらしい湿り気音とともに山崎の指が久美子のオマンコにズブズブと入っていく。

「クチュ♡クチュ♡クチュ♡」

優しく久美子の中を掻き回す山崎。

「ああん♡上手う～♡」

舌を出し、トロけた表情を見せる久美子。

山崎はゆっくりと指を動かし続ける。

中指でヴァギナを掻き回し、親指でクリトリスを刺激する。

「おほお♡おほお～♡」

久美子は喘ぐしかなかった。

ドエロい表情で太ももをブルブルと震わせている。

山崎は久美子の右足を壁につけた。

下から覗く俺の目の前にはヌルヌルの久美子のオマンコがあった。

（は、は、はじめて見たあ～★★！！久美子の、オ、オマンコお！！）

俺は初めて見る女性の生マンコに大興奮で涎を垂らして、ガン見してしまう。

山崎は大きく久美子の股を開くと指の速度を早めた。

「ジュプ♡ジュプ♡ジュプ♡ジュプ♡」

中指を深く挿入し、緩急をつけて高速でGスポットを攻める山崎。

高速の手マンに合わせてラブジュースが溢れ飛ぶ。

「き♡気持ちいい～♡すごおい♡上手う♡」

山崎はキスしながら、余裕そうな表情で指マンを楽しんでいる。

「ムチュ♡ブチュ♡へへ♡上手いだろ！？俺の指マン♡」

山崎はニヤけながら言った。

（ちくしょ～！！俺なんか、女の子のオマンコをイジったことも無いのにいい～★★！！）

「ジュプ♡ジュプ♡ジュプ♡」

極上の高速手マンが炸裂する。

「ああ♡・・・もう♡イクッ♡イクう～♡」

舌を出し、後ろにのけ反って喘ぐ久美子。

「ほら♡イケ♡イケ♡イケえ～♡」と山崎。

「ブシュウ♡ブシュ♡ブシュ♡」

久美子は大量に潮を吹いた。